

[参考] 先月からの主要変更点

	2月月例	3月月例
基調判断	<p>景気は、設備投資と輸出に支えられ、<u>着実に回復している</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出、生産ともに増加している。 ・企業収益は改善が続いている。設備投資は増加している。 ・個人消費は、<u>持ち直しの動きがみられる</u>。 ・雇用情勢は、依然として厳しいものの、<u>持ち直しの動きがみられる</u>。 <p>先行きについては、世界経済が回復する中で、日本の景気回復が続くと見込まれる。一方、為替レートなどの動向には留意する必要がある。</p>	<p>景気は、設備投資と輸出に支えられ、<u>着実な回復を続けている</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出は<u>大幅に</u>増加し、生産も増加している。 ・企業収益は改善が続いている。設備投資は増加している。 ・個人消費は、<u>持ち直している</u>。 ・雇用情勢は、依然として厳しいものの、<u>持ち直しの動きがみられる</u>。 <p>先行きについては、世界経済が回復する中で、日本の景気回復が続くと見込まれる。一方、為替レートなどの動向には留意する必要がある。</p>
政策態度	<p>政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2003」の早期具体化により、構造改革の一層の強化を図る。構造改革を推進する中で、平成 16 年度予算及び関連法案の早期成立に努める。</p> <p><u>日本銀行は、1月 20 日、日本銀行当座預金残高の目標値を引き上げ、30～35 兆円程度とすること等を決定した。</u>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定及びデフレ克服を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行う。</p>	<p>政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」の早期具体化により、構造改革の一層の強化を図る。<u>この一環として、3月11日、「経済活性化のための改革工程表」をとりまとめた。</u>また、平成16年度予算及び関連法案の早期成立に努める。</p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定及びデフレ克服を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行う。</p>

各論

	2月月例	3月月例
消費	持ち直しの動きがみられる。	持ち直している。
住宅建設	おおむね横ばいとなっている。	このところ増加している。
輸出入・国際収支	輸出は、増加している。輸入は、横ばいとなっている。貿易・サービス収支の黒字は、横ばいとなっている。	輸出は、 <u>大幅に</u> 増加している。輸入は、 <u>緩やかに</u> 増加している。貿易・サービス収支の黒字は、 <u>やや</u> 増加している。

(注) 下線部は、先月から変更した部分。